

千葉県営水道事業長期施設整備方針 概要版

～次世代につなぐ 安全・安心な水道を目指して～

(令和3年3月改訂)

第1章 方針策定の目的と位置づけ

- 目的** 将来にわたり安全な水道水をお客様に安定して供給するためには、確実かつ継続的な施設更新により、水道事業の基盤の強化を図る必要があることから、長期的な施設整備方針を策定したものです。
策定に当たっては、県営水道独自の目標使用年数を定め、アセットマネジメント手法を用いて、適正な計画となるよう配慮しました。
- 対象期間** 30年間（令和3～32年度）
- 事業実施** 本方針に基づく具体的事業は、中期経営計画に位置付けて確実に実施していきます。

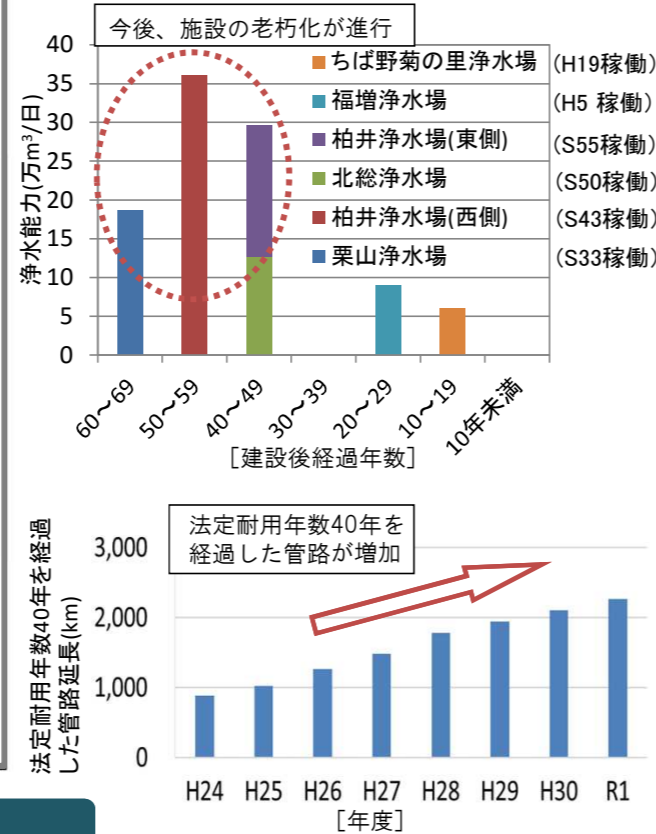
第2章 県営水道の現状と課題

1 県営水道の概要(令和元年度末)



2 県営水道の現状と課題

昭和30年代から50年代にかけて集中的に建設された浄・給水場や管路施設が急速に老朽化していきます。
また、近年頻発している大規模災害に対応するためには、水道施設の耐震化や停電・浸水対策の推進が必要です。



第3章 長期施設整備方針策定に係る基本条件

1 対象施設

県営水道の全ての浄・給水場等の施設及び管路施設を方針策定の対象施設とします。

(1) 浄・給水場等

対象施設	施設数	主な施設名
取水場	4	印旛, 木下, 高滝, 矢切
浄水場	6	栗山, 柏井(東, 西), 北総, 福増, ちば野菊の里
給水場	9	園生, 船橋, 菅田, 成田 等
分場	5	千葉, 市原, 大宮, 姉崎, 北習志野
高架水槽	12	船橋, 坂月, 東寺山, 辰巳 等
調圧水槽	12	柏井系, 北総系 等
計	48	

(2) 管路

対象施設	路線数	延長	主な路線名
<導水管>	6	72km	木下・印旛～柏井 等
<大口径送配水管φ500以上>		601km	
高級铸铁管使用	26	108km	一抔栗山～船高線 等
上記以外	—	493km	—
<小中口径配水管φ450以下>			
ダクタイル铸铁管等	—	8,506km	—
計		9,179km	令和元年度末現在

2 目標使用年数

水道施設には、法定耐用年数を超えても十分に使用できるものがあるため、県営水道独自に施設毎の目標使用年数を定め、更新していきます。

- 浄・給水場等
 - ✓ 土木・建築・鋼構造物:60～80年
 - ✓ 電気・機械・計装設備:15～30年
- 管路施設 60～80年

3 必要施設能力

更新期間中の施設能力低下や突発事故等に対応するため、現在確保している必要施設能力を維持していきます。

1,276,800m³/日
(適宜見直しを行い、適正規模について十分配慮しながら整備を行います。)

第4章 具体的な実現方策

1 老朽化対策

- 長寿命化
- 計画的更新

適切な点検、修繕の実施
目標使用年数、老朽度・重要度等、施設の実情を踏まえた更新

2 危機管理対策

- 施設耐震化
- 停電・浸水対策

浄・給水場等重要施設における耐震化の更なる推進
管路耐震化の更なる推進(湾岸埋立地域や重要給水施設管路)
浄・給水場等重要施設における停電・浸水対策の推進

3 安全でおいしい水の安定供給と健全経営の確保

- 高度浄水処理導入
- 効率的経営

安全でおいしい水の安定供給
事業の平準化、効率的執行、補助金等の活用等多様な業務手法の検討

第5章 施設の更新・整備スケジュール及び事業費

令和	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
スケジュール	浄水場・取水場の更新																印旛(取)		木下(取)													
	ちば野菊(浄)整備																栗山(浄)給水場化		柏井(浄)(西側)		北総(浄)											
	給水場・分場の更新																市原(分)、大宮(分)、姉崎(分)、北習志野(分)、千葉(分)		船橋(給)、菅田(給)、成田(給)、北船橋(給)													
	導水管の更新																木下(取)～柏井(浄)		印旛(取)～柏井(浄)		木下(取)～北総(浄)											
事業費	大口径送配水管の更新																一抔栗山～船高線、一抔園生～登戸線、等(高級铸铁管使用路線、ダクタイル铸铁管使用路線)															
	小中口径管の更新																															
	浄給水場	約1,000億円																約500億円		5年毎に策定する中期経営計画に併せて推計していきます。												
管路施設	約1,700億円																約2,000億円															
計	約2,700億円																約2,500億円															
維持・修繕	約500億円																約500億円															
合計	約3,200億円																約3,000億円															

第6章 長期施設整備方針の主な達成目標

[実績：令和元年度末]

大口径送配水管路の更新(高級铸铁管解消)	実績	1%
R21達成	目標	100%
管路の耐震化率(湾岸埋立地域)	実績	48%
R22達成	目標	100%
小中口径管路の耐震化率(重要給水施設管路)	実績	26%
R22達成	目標	100%

自家発電設備の整備率(3日間(72時間)対応)	実績	0%
R6達成※	目標	100%
浸水被害による断水件数	実績	0件
通年達成	目標	0件
配水池の耐震化率(レベル2地震動対応)	実績	45%
R27達成	目標	100%

※ 自家発電設備の整備率については、栗山(浄)・園生(給)を除きR6に達成。(栗山(浄)・園生(給)については給水場の整備に合わせて実施)